

「川の日」記念行事

(since1998, 第21回「川の日」ワークショップ)

第11回 “いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in 北海道十勝

日本の “いい川”・“いい川づくり” 募集!!

7月7日「川の日」の記念行事の一つとして全国の川や水環境に関する市民、行政に呼びかけスタートした「川の日」ワークショップは、第10回大会を経て「いい川」・“いい川づくり”ワークショップとして新たに歩み出し、通算21回目の開催となりました。過去20回の大会で応募数はのべ1123件となっています。

川は、生きものを育み、地域や私たちの暮らしを支えてきた、かけがえのないものです。この大会は、私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにとって“いい川・水辺”とはどんなことなのか、自由に柔軟に探っていくと、各地で活躍する市民・住民・行政に呼びかけ1998年に始まりました。これこそ“いい川”・“いい川づくり”という事例や事業、思いを持ち寄り、その目的、取り組みを発表、議論することにより、少しでも“いい川・いい川づくり”のビジョン、イメージの共有につながれば、やがては日本中に個性豊かな愛着の持てる川や水辺が出現するとの思いからです。

また、テーマも川を中心としたさまざまな水辺から、山や里、農業用水路や海、下水道や雨水の分野、水循環、防災、まちづくり、福祉、教育など、領域やテーマを広げてきました。そして、21回目となる今大会は、北海道十勝（帯広市）において開催します。地域、世代を越えたさまざまな人たちが一堂に会し、2日間にわたる驚きと感動にあふれた公開選考会と交流が行なわれます。

みなさんの自慢の“いい川・いい川づくり”を持って、是非、ご参加下さい。



[大会は9/8-9の開催を予定していましたが、9/6の地震により、下記の日程に延期、会場を変更し開催します。]

- 日時：2018年12月1日（土）11:00～18:15 18:30より交流懇親会
2日（日）9:00～15:30 *時間は予定です

*11月30日（金）14:00～十勝の水辺を巡るエクスカーション（事前申込制）

- 会場：大会1日目〈12/1〉：『ホテル大平原』（河東郡音更町十勝川温泉南15丁目1番地）
大会2日目〈12/2〉：『とかちプラザ』（帯広市西4条南13丁目1）

- ・主催：いい川・いい川づくり実行委員会 実行委員長 宮口 侗畑 他約100名
いい川・いい川づくりワークショップ in 北海道十勝 現地実行委員会 実行委員長 柳川 久
- ・後援：国土交通省、北海道、帯広市、池田町、音更町、幕別町、帯広畜産大学、帯広大谷短期大学
十勝毎日新聞社、北海道新聞社、帯広信用金庫、NHK 帯広放送局、HBC、HTB、TVH、UHB、
FM-JAGA、FM-WING ※一部予定

“いい川”・“いい川づくり”ワークショップとは？

- 全体会場での全応募者一斉発表に始まり、テーマ別のテーブル選考、復活選考、会場からの意見も交えて行なわれる全体選考会のプログラムで、全てオープンに行われます。
- 各選考は実行委員会からそれぞれ選出された選考員（市民、行政、学識者など）が行います。選考の視点、評価のポイントは次のように考えています。
 - ◆川の「タカラモノ」に光を当て、“いい川”“いい川づくり”とは何かを探ります。
 - ◆内容の長所を評価する加点方式とし、短所は減点の対象としません。
 - ◆公開選考会は、おおよそ以下の4つのカテゴリにおいて総合評価します。
 - 発想・着眼評価：“いい川”をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価
 - 関わり評価：地域住民と川との豊かで良好な関わり合いについての評価
 - プロセス評価：“いい川”を育むための市民・住民参加や、様々な分野の人達との協働のプロセスについての評価
 - 計画・技術評価：川らしさの保全や“いい川”回復のために工夫された計画手法や施工技術等についての評価や“いい川”を実現した技術に対し選考を行います。
- 応募者は、規定のプレゼンテーション用パネルを用意し、自由な表現方法で発表、アピールします。1件3分という限られた時間の中で、工夫を凝らし熱のこもった発表が毎回繰り広げられています。日頃の取り組みを発表すること、そして意見交換、参加者との交流を通じて、新たな発見、取り組みのエネルギーをつかみます。
- 選考は優劣を決めるものではありません。2日間を通した合意の深まり、学びあいの成果として、グランプリや入賞を選びます。入賞者には、実行委員会よりオリジナルの表彰状や副賞を贈呈し、成果を讃えます。

第11回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in 北海道十勝

【大会概要】

※プログラムの詳細、時間等は、多少変更する場合があります。

☆ **エクスカージョン 11月30日(金)** 14:00 帯広駅 集合 ~ 17:00 十勝川温泉 解散

:いい川・いい川づくりワークショップ in 北海道十勝 現地実行委員会 企画・運営

「住民連携による川の維持管理」をテーマに、十勝川水系の川や水辺を巡ります。

* 参加費(バス代・保険代・資料代) 2,000 円, 定員: 40 名

※ワークショップ参加者のうち希望者募集(事前申込制)。詳細は、大会ホームページをご覧ください。

12月1日(土) 11:00開会 ~ 18:15 ・会場:十勝川温泉「ホテル大平原」

☆ **実行委員会 (10:20~10:50)** ※実行委員のみ 受付 10:00~

(応募者・一般受付 10:20~)

全体集会

- ・11:00 開会 (全体会場)
- ・ワークショップの考え方や進め方等を共有します。

全体発表会

(全応募団体の発表)

- ・全体会場での全応募団体の発表会
- ・大まかなテーマであらかじめ分けられたグループの順に従い、1件につき3分間で、続けて発表のみを行います。グルーピングと順番は、当日の選考資料参照。

テーマ別
テーブル選考

- ・全体発表会での発表を受け、各グループに分かれ、それぞれの会場(テーブル)で発表者、一般参加者を交えて議論します。
- ・同じテーマのエントリーが多数の場合、テーブルは複数となります。全体選考に各テーブルから1~2件を推薦します。

全体集会

- ・テーブル選考の結果報告
- ・韓国からの参加者による発表
- ・全体討論:地域の課題など1つのテーマについて会場全体で討論します。
テーマ「地域連携による河川環境の持続可能な維持管理システム」(予定)
(1日目終了)

交流懇親会

- 18:30 ~ ・会場: ホテル大平原 内
- ・交流懇談会と2日目の復活選考等に向けたアピール ※事前申込み・会費制
- ・川の恵み交流会

12月2日(日) 9:00~15:30開会 ・会場:「とちちプラザ」アトリウムほか

復活選考

- ・テーブル選考の選外から全体選考へ、ポスターセッション形式による追加推薦を選考員による投票で行ないます。

入選者発表会

- ・テーブル選考と復活選考で推薦された団体による発表会(3分/件、発表)。

公開討論による
全体選考

- ・二部構成の選考と討論のなかから、グランプリほか各賞の絞込みの議論を通じて、新たな“いい川”・“いい川づくり”を発見し評価していきます。

講評・表彰

- ・グランプリ、準グランプリなどの表彰
- ・特別賞(広松伝賞、森清和賞、“いい川”技術賞など)の表彰と講評

● 応募・問い合わせ先: いい川・いい川づくり実行委員会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14-301 NPO 全国水環境交流会 TEL: 03-3408-2466 FAX: 03-5772-1608

E-mail: kawanohi-2006@mizukan.or.jp URL: <http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

「第11回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in 北海道十勝」は、公益財団法人 河川財団の河川基金の助成を受けています。



河川基金

「川の日」記念行事「第11回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in 北海道十勝」は、「川の日」実行委員会の助成を受けています。

